

グループホーム「櫻」第29回運営推進会議議事録

日時 平成25年10月29日(火) 14:00～15:00
場所 グループホーム「櫻」 1F 食堂
出席者 運営推進会議委員
社協：地域包括支援センター管理者 渡 邊 誓 子
逗子市民生委員 中 田 美代子
ご家族代表 今 井 真知子

「委員5名中 3名出席」

医療法人社団柏信会 看護部長 岩 木 和 子
グループホーム「櫻」 事務長 遠 藤 勝 三

会 議 概 要

1. 開会の辞

定刻、事務長は各委員に本日の出席を謝すと共に、本日、理事長所用のため欠席、逗子市介護保険課長及び葉桜自治会代表の欠席を伝え議案に入る。本委員会の議案が少ないため懇談形式で実施する旨を伝え出席者の了承を受け、前半は資料により入居者等の状況を報告、後半は懇談会とした。

2. 議題

(I) 報告事項

ア 入居者の現況及び活動状況について(資料)

： 入居者の現況

各ユニットは、入退所及び介護度の区分変更、加齢等により前回に比し若干の変動がありました。

※ 資料のユニット合計数で説明

| | | |
|-------|---------|-----|
| 要支援2 | 0名は増減無し | |
| 要介護度1 | 1名は増減無し | |
| 要介護度2 | 5名が4名 | 1名減 |
| 要介護度3 | 6名が7名 | 1名増 |
| 要介護度4 | 4名が2名 | 2名減 |
| 要介護度5 | 2名が4名 | 2名増 |

平均年齢は86.33歳が87.78歳で1.45歳の増。
地域別では逗子市が17名、葉山町1名の合計18名です。

： 活動状況

資料「さくら」7月号～9月号で利用者様の状況を説明。

第28回会議でもご報告いたしましたグループホームの周知について、7月号及び9月号でも「グループホームとはどんな施設？」として連載し施設概要の周知に努めています。

活動としては季節的な行事の七夕祭り、夏祭り、ボランティアによるハーモニカ演奏会、敬老会など主な写真を掲載、ご家族様にお知らせしているところです。

なお、9月号では居室内での車椅子使用について、現状をお知らせし車椅子ご利用の方のご家族様にはご協力を頂くようお願いいたしました。

イ 「櫻」のホームページについて(資料)

別紙資料により現在のホームページを紹介。柏信会 青木病院にリンクしているので検索しやすい。運営推進会議は第1回から議事録等を掲載しているのでご覧頂き、内容等についてご意見等があればご遠慮なくお申し出下さい。より良いホームページにしたいと思います。

(2) その他

懇談形式で情報交換等を行った主な項目は以下のとおり。

ア 利用者様の受診データの活用

「櫻」における定期受診以外に病院（診療所）に受診した記録を作成し、其のデータを管理、公表(ご家族様へ開示)してはどうか。

：次回までに様式を検討、素案を作成し次年度から実施する。また過去へ遡及できるものはデータとして纏める。

イ 現在の施設入居待ち状況はどうか。

：「櫻」としては2名の待ち、3名の希望相談者が居るがその場になってみないと確実な数字にはならない。

取りあえず申し込みをして他施設も当たるという二股三股を掛けて早いほうに入居するようである。ご家族としては「今」入居できる施設を求めている。

逗葉地区の同業施設も「櫻」と同じような状況にある。

：施設としては「選ばれる」「待ってられる」施設でなければ入居者の確保は困難になる。

: 沼間にユニットと従来型をミックスした特別養護老人ホーム「逗子杜の里」がオープン。(徳州会)

狭い逗子葉山地区で入居者の確保、人材確保等が競合するため、小規模な施設は苦しい立場に追い込まれる。

: ボランティアの活用について

「きらら」において、ボランティア主催であるがバイキングランチがあり近隣の親子連れなどが参加している。地域密着型として「櫻」も地域との交流のヒントになるのではないか。

: 選ばれる施設を目指す中でも人材教育が大切な要素を占めている。

良いスタッフ＝良い施設＝入居者の安心感に繋がる。

: 人材確保のネックは介護職の低賃金にある。最低賃金も年々上昇しているのに介護報酬は上がらない。

その他、これに関連した発言はあったが割愛する。

3 閉会の辞

議案等の終了を見届け予定時刻前ではあったが、事務長は各委員に対し次回の開催を確認（26年1月28日（火）14:00～15:00とする）と共に、本日の出席を謝し閉会を宣した。